

サムシング☆15周年☆ライブ

1994 → 2009

スペシャルゲスト **SAM**

茶木みよこ



出演予定バンド：ローカル船
グリーンス
サムシングクラブバンド



◆ 2009年12月19日 (土)

◆ 開場：午後2時30分

開演：午後3時

◆ 会場：しんこう苑

日光市木和田島2112-7 電話：0288-26-0951

◆ 前売：2,800円 当日：3,300円

主催：サムシング 連絡先：須佐佳子 TEL 0288-26-3990

<http://somesing.net/>

サムシング☆15周年☆ライブ 特別ゲスト プロフィール

SAM <http://www.office-humanzoo.com/sam/>

赤木一孝（あかきかずたか） 1957年 鹿児島生まれ

担当楽器:ギター、フラットマンドリン

中学のときからギターを弾き、高校時代は『ナターシャー・セブン』のコピーバンドをつくる。ブルーグラスをやるために関西の大学を選び、ブルーグラスギターの演奏技術を磨く。79年に渡米。

1935年以来続くヴァージニア州ゲイラックスのアコースティックコンテストに出場し第2位を獲得。85年にも、同コンテストで上位入賞を果たす。帰国後、大阪で『井手正雄カルテット』『サウスサイド・ジャズバンド』に参加、ジャズのリズムギタープレイヤーとしてプロデビュー。

98年、神戸在住のミュージシャンによるCD “Kobe super pickers DUSK & DAWN acoustic unlimited” に参加。幅広い活動の場をもち、洗練された音楽性とギターワークでSAMの音楽をより豊かなものになっている。フラットマンドリン演奏にも力をいれている。キュートなヴォーカルで、多くの女性ファンをもつ。

作品:「風が痛い」、「雨の夜はひとりで」、「夏」、「おとうさんの朝ごはん」、「ごきげんおじさん」、「とうさんのおっぱい」など。2006年ソロCD「からっぽの部屋」リリース。

松崎博彦（まつざきひろひこ） 1964年 京都生まれ

担当楽器:エレキベース、ギター

幼い頃から父の好きな『ブラザーズフォア』を聴いて育つ。小学校のときラジオから流れる『ナターシャー・セブン』に傾倒し、「自分も唄いたい」と想いを膨らませ、15才で円山音楽堂で開かれたコンテストに合格。以来、『ナターシャー・セブン』の事務所『七人の会』で手伝いを始める。

宮崎の大学へ進むが、「学業よりも唄うことに多くを費やした」という。大学のロックバンド、ライブハウス、スナックなどで唄い、音楽漬けの毎日を送る。卒業後、京都でサラリーマンを経験するが、89年、『フォークス』に参加、プロ活動を始める。作詞も手がけ、

98年暮れ、ソロアルバム「追懐」をリリース、新たな世界をひろげ始めた。

作品:「祭ばやし」、「追懐」、「誰にも同じように」、「ニッポニア・ニッポン」、「イングルサイド」、「辛い時代」など

茶木みやこ（ちやきみやこ） 京都生まれ、京都在住 <http://www.chakimiyako.com/>

1970年 ピンクピクルス結成

1971年 僕にさわらせておくれ、天使が恋をおぼえたら、一人の道などリリース

1973年 ソロ活動開始 TVドラマ横溝正史シリーズ主題歌 まぼろしの人

あざみの如く棘あれば など多数の作品発表

頭脳警察、四人囃子、ウエストロードブルースバンド、

ゴダイゴ等とアルバム制作。笑福亭鶴瓶、クニ河内、

岡崎倫典、下田逸郎、内田勘太郎、永井龍雲等と共演

2001年 斎藤ノブ プロデュースのもとに久々のCD “Love is enough” 発表

ライブ活動再開

2003年 斎藤ノブとCD “miyako” 発表、各地でライブツアー

2004年 中国国家一級揚琴奏者沈兵とのコラボレーションは各地で好評

「茶木みやこ撰歌」NHK「みんなのうた」

ピンクピクルス “FOLK FLAVOR” CD復刻盤が発表される

2005年 桑名正博とアコースティックライブツアー

2006年 ギターを抱え各地でライブツアー

CD「翔べなくなるわ」復刻盤発売(トランジスターレコード)

2007年 「一人の道」、「あなたの手紙」などがマスコミに取り上げられる

プロデュースに柳田ヒロ・園山光博をむかえレコーディング開始

バイオリン奏者平松加奈とライブツアー、

中国・広州や日本最西端与那国島等でライブツアー

2008年 5年ぶりのニューアルバム「あるよ・ね」発売(コロムビアエンターテイメント)

柳田ヒロ・園山光博とライブツアー